

安全データシート

改訂日：2020年3月30日

1. 製品及び会社情報

製品名
会社名
住所
電話番号

整理番号

やし油
米山薬品工業株式会社
大阪府中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
HA0003

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

ラベル要素

絵表示又はシンボル

自己発熱性化学品：区分2



注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

警告

大量の場合自己発熱；火災のおそれ

【安全対策】

—

【応急措置】

—

【保管】

—

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別

化学名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

成分及び含有量

混合物（主としてC12、C14の中鎖飽和脂肪酸からなる）

やし油

—

特定できない。

CAS RN：8001-31-8

やし油（ラウリン酸41～48%、ミリスチン酸16～20%、パルミチン酸9～13%、カプリル酸5～7%、カプリル酸6～8%、カプロン酸0～1%、オレイン酸6～10%）

該当情報なし。

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のところへ移動すること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水で洗い流した後、石鹸を用いて十分に洗浄すること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口の中をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡消火剤／粉末消火剤／二酸化炭素／乾燥砂

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

空気との接触により、エネルギー供給が無くても自己発熱しやすい。

大量に保管し長期経過すると、空気酸化により内部に発生した熱が蓄積し、発火に至る危険性がある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

環境に対する注意事項 回収、中和	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く。
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い 技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 接触回避 保管 技術的対策 適切な保管条件 混触危険物質 容器包装材料	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気装置を設置する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 該当情報なし。 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 発火の危険性があるので大量に長期間保管しないこと。 法令に従った保管をすること。 容器を密閉すること。 直射日光を避け、換気の良い冷しい所で保管すること。 施錠して保管すること。 該当情報なし。 ガラス
8. 暴露防止及び保護措置 許容濃度等 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策 保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策	未設定 未設定 未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 保護眼鏡を着用すること。 適切な顔面用の保護具を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火温度 分解温度 pH 溶解度 n-オクタノール／水分分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 蒸気密度	常温で半固体の油脂 淡い黄色 特異な臭気がある。 22～26℃（上昇融点）（測定値） 該当情報なし。 可燃性物質だが引火性は低い。 該当情報なし。 280℃（クリフランド開放式）（危険物確認試験） 329℃（文献値） 該当情報なし。 該当情報なし。 水に不溶。 該当情報なし。 該当情報なし。 0.907～0.917（40℃）（文献値） 該当情報なし。
10. 安定性及び反応性 安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	通常の実験においては安定である。 通常の実験条件下では、危険有害な反応は起こらない。 熱、高温、日光、裸火・スパーク・静電気・その他の着火源との接触 該当情報なし。 該当情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

(経口) 該当情報なし。(分類できない)

(経皮) 該当情報なし。(分類できない)

(吸入) 該当情報なし。(分類できない)

皮膚腐食性・刺激性

該当情報なし。(分類できない)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

該当情報なし。(分類できない)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

該当情報なし。(分類できない)

生殖細胞変異原性

該当情報なし。(分類できない)

発がん性

該当情報なし。(分類できない)

生殖毒性

該当情報なし。(分類できない)

特定標的臓器・全身毒性-単回暴露

該当情報なし。(分類できない)

特定標的臓器・全身毒性-反復暴露

該当情報なし。(分類できない)

誤えん有害性

該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報

生態影響

該当情報なし。

残留性・分解性

該当情報なし。

生態蓄積性

該当情報なし。

土壤中の移動性

該当情報なし。

オゾン層に対する有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

1363

品名(国連輸送名)

その他の引火性液体

国連分類

クラス4.2(自然発火性物質)

容器等級

Ⅲ(国連分類4.2容器等級Ⅲであり、GHS分類は自己発熱化学品:区分2とした)

海洋汚染物質

第1有害液体物質(D類)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

消防法等に従う。

陸上輸送

消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

135

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない

消防法

指定可燃物

16. その他の情報

引用文献

16615の化学商品(化学工業日報社)

製品評価技術基盤機構HP(NITE)

危険物確認試験結果報告書

安全データシートの作成指針(2019年版)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。